

おわりに

下層の東よりの風による大雨については、海上を含めて十分な資料がないため結論の得られていないものが多い。

この現象の解明には、集中豪雨の特別観測で行なったように宮崎東方沖に観測船による海上観測網を展開し、海上、高層、海洋の総合的な観測をすることが必要である。

これにより、宮崎県の盲点となっている東よりの風による大雨予想のための成果が得られるものと期待している。

この結果によっては本文の結論に修正されるものもある。

参考文献には直接間接引用した宮崎県東岸の大雨について関係のあるもののみを年代順に示した。

本文作成にあたり色々ご指導いただいた半沢台長、中村予報官、さらに貴重な資料を提供していただいた県水産試験場の方々に厚く感謝の意を表したい。

文 献

- 笠村幸男, 1961: 局地豪雨の解析—1960年7月27～28日の大分県南部の豪雨—, 研究時報, **13**, No. 10, 794-802.
- 狩生義明・笠村幸男, 1963: 1961年10月26日の低気圧による大分県南部の豪雨, 研究時報, **15**, No. 2, 133-146.
- 山形英雄, 1964: 宮崎県の大雨調査, 西部管区研究会誌25号, 13-18.
- 渡辺忠夫, 1964: 南東風による宮崎県の大雨, 西部管区研究会誌25号, 19-21.
- 内村信行, 1966: 宮崎市における降雨と風との関係について, 福岡管区研究会誌27号, 146-148.
- 黒木義秋, 1967: 昭和41年8月14～15日の宮崎県の集中豪雨, 福岡管区研究会誌28号, 117-120.
- 黒木義秋・鈴木宗徳・原田征男, 1967: 宮崎県の大雨の特性, 福岡管区研究会誌28号, 134-138.
- 菊池経武, 1967: 850mb の資料による宮崎県の雨量予想, 福岡管区研究会誌28号, 138-141.
- 平野博・島村克, 1967: 昭和41年8月14～15日九州東部の大雨について, 福岡管区研究会誌28号, 216-219.
- 黒木義秋, 1968: 昭和42年9月27日の大雨について, 福岡管区研究会誌29号, 95-98.
- 鈴木宗徳, 1968: 昭和43年5月11～12日の宮崎地方の大雨について, 福岡管区研究会誌29号, 101-105.
- 黒木義秋, 1969: 宮崎県の大雨の特性について(第2報) 鹿児島の高層資料との関係, 福岡管区研究会誌30号, 205-207.
- 鈴木宗徳, 1969: 宮崎県の大雨の特性について(第2報) 1時間雨量による考察, 福岡管区研究会誌30号, 208-211.
- 山田三朗, 1970: 宮崎県の降雨機構その1, 福岡管区研究会誌31号, 221-229.
- 鈴木宗徳, 1970: 1970年5月上旬の宮崎県北部海岸地方における大雨解析, 福岡管区研究会誌31号, 231-233.
- 黒木義秋, 1971: 下層偏東風による宮崎県の大雨について, 福岡管区研究会誌31号, 138-139.
- 藤田光義, 1971: 鹿児島の上層と宮崎県の降雨について, 福岡管区研究会誌32号, 140-141.
- 山田三朗・佐々木高綱, 1971: 宮崎県の雨の日変化と降雨機構, 福岡管区研究会誌32号, 150-151.
- 山田三朗, 1971: 収束量と地形および海水温等からみた宮崎県の降雨機構, 福岡管区研究会誌32号, 152-153.
- 糸山真一, 1972: 偏東風による大分県南部の大雨について, 福岡管区研究会誌38号, 14-15.
- 黒木義秋, 1972: 偏東風による大雨の予報, 昭和47年度福岡管内予報技術検討会資料, 1-14.
- 黒木義秋, 1973: 偏東風, 福岡管区気象台要報28号, 32-37.
- 笠村幸男, 1973: 高層風の短時間雨量予想への試み, 昭和47年度全国予報技術検討会資料, 19-23.
- 福岡管区気象台, 1973: 種が島レーダーエコーの観測ノート, 技術解説資料(4), 7.
- 中村理佑, 1973: 偏東風による大雨, 昭和48年度福岡管内予報技術検討会資料.

POLEX-NORTH と -SOUTH についての INFORMAL MEETING のご案内

日 時 5月23日(木)午後6時～
会 場 気象庁内(予定)
参加者 岸保勘三郎(東大)
川口 貞男(極地研究所)

楠 宏(極地研究所)
高野 健三(理化学研究所)
樋口 敬二(名大)
ほか (日本気象学会南極委員会)